2019年度　新人看護職　年間教育計画／到達度評価表

【　到達目標（一年後の姿）　】

1 キリスト教精神に基づく全人医療の実践に関心をもつ
2. 看護職員として必要な姿勢と態度を身につける
3. 基本的な看護手順に従い、必要に応じ助言を得て看護を実践する
4. 自己の目標を明確にし、前向きに取り組む

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
到達目安	病院・看護部の基本理念および概要がわかる 自部署の概要および特殊性がわかる	職場環境に慣れ、自部署の看護業務の流れがわかる 指導・助言を受けながら基本的なケアを手順に従い実践できる		指導・助言を受けながら生活者の視点でケアの受け手のニーズに目を向けようとする 指導・助言を受けながらケアの受け手に必要な看護を判断し手順に沿い実践できる			指導・助言を受けながらケアの受け手に必要な看護を根拠をもって実践できる 多重課題に向き合いながら、チームメンバーの一員として役割を果たしていく			指導・助言を受けながら生活者の視点でケアの受け手のニーズに目を向けた看護を実践する 1年の自己の成長を実感し、課題に前向きに取り組む		
全人医療	1)キリスト教精神に基づく全人的な存在である人間について知る 2)チャプレンや牧師室スタッフおよび牧師室の働きを理解する 3)朝礼への出席し、チャプレンのメッセージを聞く機会をもつ											
看護の核となる実践能力 ニーズをとらえる力	□ケアの受け手のニーズをとらえようとする □ケアの受け手を看護するために必要な情報が何かを考える	□ケアの受け手の身体的、精神的側面から必要な情報が何かを知る		□ケアの受け手の身体的、精神的側面から必要な情報収集ができる □ケアの受け手の社会的側面から必要な情報が何かを知る □ケアの受け手の状況から緊急度を考える □退院支援を意識した情報収集の必要性を知る			□ケアの受け手の身体的、精神的、社会的側面から必要な情報収集ができる □ケアの受け手のスピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる □退院支援が必要な情報が何かを考える			4)助言を受けながらケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から情報収集ができる 5)退院支援を意識した情報収集ができる		
看護の核となる実践能力 ケアする力	□看護手順の看護技術の項目を知る □配属部署に必要な看護技術が何かを知る □看護手順に従い基本的な看護技術を実施できる	□自部署に必要な基本的看護技術が何かを理解する □ケアの受け手に必要な看護技術を判断し、看護手順に沿い実施できる □ケアの受け手に必要な看護ケアが何かを考える		□自部署の特殊性に合わせた看護技術が何かを理解する □ケアの受け手に必要な基本的看護技術を判断し実施できる □ケアの受け手に必要な看護ケアを判断し実施できる □プライマリーナースの役割を理解する			□看護手順に沿い自部署の特殊性に合わせた看護技術を実施できる □ケアの受け手に必要な看護ケアを根拠をもって判断し実施できる □プライマリーナースとしての関わりを実践できる □PNSマインドの実践を意識した行いをとろうとしている			6)指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる 7)指導を受けながらケアの受け手に基本的援助ができる 8)看護手順やガイドラインに沿って基本的看護技術を用いて看護援助ができる 9)プライマリーナースの役割を理解し、助言を受けて受け持ちができる 10)緊急事態がわかり、報告できる 11)指導を受けながら行った看護ケアを振り返り評価できる		
看護の核となる実践能力 協働する力	□PNSマインドを知る □報告・連絡・相談の方法を知る	□PNSのもと、看護ケアを実施できる □報告・連絡・相談の事項を判別し意識的に行おうとする □ケアの受け手を取り巻く関係者を知る		□ケアの受け手の情報を関係者と共有する必要性を知る □医師の指示を受けることができる □看護チームの一員であることの自覚をもつ			□ケアの受け手の情報を関係者と共有する方法を知る □ケアの受け手を取り巻く関係者の多様な価値観があることを知る □看護チームの一員として自己の責任や役割について考える □プライマリーナースとしての関わりを実践できる □報告・連絡・相談が正確にできる			12)助言を受けながらケアの受け手を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる 13)助言を受けながらチームの一員としての役割を理解できる 14)助言を受けながらケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる 15)ケアの受け手を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる 16)連絡・報告・相談ができる		
看護の核となる実践能力 意思決定を支える力		□ケアの受け手に思いや考え、希望があることを知る		□ケアの受け手の思いや考え、希望に目を向けようとする			□ケアの受け手の周囲の人々の思いや考え、希望に目を向けようとする			17)助言を受けながらケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる		
看護の質を保証する能力 役割を遂行する力	□社会人としてのマナーを守ることができる、（時間、身だしなみ、丁寧な言動　など） □組織人として就業規則を知る □医療団・病院・看護部の基本理念・概要を理解する □配属部署の概要や特徴を理解する	□自己の生活・健康管理ができる □組織人として就業規則を遵守できる □病院の機能や構造、各診療科の機能や配置を知る □自部署の看護体制や看護サービスの特徴、看護目標を理解する □指導助言を受けながら自己目標をたてる		□自己目標を意識し行動しようとする □自己の課題を明確にする			□夜勤をしながら自己の生活・健康管理ができる □自己の課題解決に向け前向きに取り組む □病棟での係りとして役割を担う			18)社会人・組織人としての責任と役割を理解し遂行できる 19)部署の方針・目標を理解する 20)助言を得て自己の目標を立て達成できる 21)チームメンバーの役割、病棟での係の役割を遂行できる 22)基準、マニュアルに沿った安全対策について説明できる 23)自己の課題を明確にし、前向きに取り組む		
看護の質を保証する能力 マネジメント力	□「看護者の倫理綱領」が看護者の行動の指針であることを知る □守秘義務を遵守することの必要性を理解する □医療安全・感染予防・防災マニュアルの手順を知る □インシデント・アクシデントの概念を知る □電子カルテの基本操作が理解できる	□環境に配慮できる □スタンダードプリコーションが正しくできる □薬剤を正しく安全に取り扱う □医療廃棄物を正しく取り扱う □困ったことやわからないことは報告・連絡・相談ができる □電子カルテからケアに必要な情報収集と実施入力ができる □療養環境・物品に関する支援サービスの仕組みを知る □SPDを正しく運用できる		□療養環境に配慮した整備や調整ができる □感染予防マニュアルを手順に沿い実施できる □インシデント・アクシデントを正確に判断し報告できる □日々の業務の中で危機管理を意識して行動する □アメニティなど療養生活に必要な環境を整える手続きを正しく運用できる			□医療保健福祉および看護の動向を知る必要性を理解する □麻薬や輸血の取り扱いを手順に従い実施できる □防災マニュアルの手順を理解する □業務に必要な書類や手続きを正しく運用できる			24)医療団各事業体の機能役割を知る 25)「看護者の倫理綱領」を理解する 26)医療保健福祉および看護の動向について関心を持つ 27)個人情報保護および守秘義務遵守の重要性を理解し実践する 28)療養環境・物品に関わる支援サービスの仕組みを知る 29)指導を受けながら医療安全・感染予防・防災マニュアルを手順に沿い実施できる		
看護の質を保証する能力 教育・研究する力	□新人看護職員の年間教育計画を理解する □病院看護部の継続教育計画を知る □同僚やチームスタッフに関心をもつ	□自部署の基本的な看護手順や看護技術について学習する □自部署の代表的な疾患と看護展開について学習する □院内の教育計画に関心をもつ □同僚やチームスタッフとコミュニケーションがとれる		□自部署の特殊性に合わせた看護展開や看護技術について学習する □自分の学習活動を同僚と共有できる			□日々の看護実践の中で疑問や問題意識を持つことができる □必要な学習活動が行える □学生の実習に関心をもつ			30)何事にも関心を持ち自ら学ぼうとしている 31)日々の業務の中で看護とは何かを考えることができる 32)指導を受けながら日々の看護実践をリフレクションしようとする 33)部署内の勉強会に参加する 34)院内の研修会に参加する 35)自分の学んだ知識や技術を伝達し共有できる 36)学生の学習目標を理解し、協力的に関わる		

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
導入時期		L勤オリエンテーション各2回後、L勤独り立ち 夜勤シャドウィング各1回		夜勤オリエンテーション各3回後、順次　夜勤独り立ち プライマリー1人			プライマリー2～3人					
面接			3ヶ月面接			6ヶ月面接			9ヶ月面接			1年面接
研修 集合研修	全人医療　医療安全①　感染防止 社会人基礎力　接遇・コミュニケーション 看護記録　静脈穿刺法　輸液療法　栄養管理・薬剤管理　ME機器　心電図 輸血管理　1か月振り返り	セルフマネージメント	フィジカルアセスメント （呼吸・循環）	医療安全②	フィジカルアセスメント （消化器・中枢神経）	6ヶ月振り返り	多重課題	ストレスマネージメント	フィジカルアセスメント （栄養・排泄・皮膚）			1年の振り返り
研修 OJT	※ 看護部の「指導に関する取り決め」を使用し、各部署で時期、状況の設定自由 □酸素療法　吸引　急変時シミュレーション（BLS含む） □自部署の代表的疾患の看護展開のシミュレーション（看護技術を含む）最大3つ										リフレクション （看護体験）	

2017.3 作成
2018.3 改訂